

豊岡市但東地域 就農・定着支援プラン

溢れる人情味！「住めば都の但東」で
理想の田舎暮らしを描きませんか？

1 地域概要



豊岡市は、兵庫県の北東部に位置し、北は日本海、東は京都府に接しています。

1971年に野生絶滅したコウノトリの野生復帰に取り組み、現在では約140羽の野生コウノトリが舞う自然豊かな地域です。

また、世界ジオパークやラムサールエリアに指定されるなど、豊かさだけでなく、多様な自然環境にも恵まれています。

農業においては「コウノトリも住める豊かな環境」を目指し、「コウノトリ育む農法の推進」や「豊岡農業スクール」等の様々な農業施策を展開しています。

但東地域は、豊岡市南東部に位置し、中山間地域で様々な特色ある農業が展開されています。

また、毎年春に実施されている「たんとうチューリップまつり」は約7万人の来場者があるビッグイベントが行われ、その他、ドウダンツツジで有名な「安国寺」、泉質の優れた「シルク温泉」等の観光名所もあり、都市部との交流が盛んに行われています。



但東スケッチ



QRコードで但東地域の素敵な自然とそこに住む人、地域の雰囲気が感じれる動画をご覧ください

2 但東地域の農業

豊岡市は低湿地帯のエリアが平場のほとんどを占めており、水稻栽培が農業の中心となっています。

そういったなかで、但東地域においては、中山間エリアで水稻以外にもピーマンやシルクコーン等の特産野菜、そば（在来種）、養鶏（採卵含）、畜産（但馬牛の繁殖）、農家民宿と様々な形態の農業が盛んに行われています。

また、但東地域は、人と人の「つながり」が強く、地域全体のまとまりがあり、認定農業者等の担い手農家で結成した「但東地域農業の将来を考える会」により、「但東地域農業ビジョン」を策定しております（平成26年12月策定）。

同ビジョンの目的の一つには、新規就農者の確保・育成が挙げられており、新規就農者の受入れ体制が構築され、現在、豊岡農業スクールの卒業生11名のうち3名が新規に但東地域で就農し、うち2名はIターン移住者という状況になっております。

また、地域おこし協力隊員1名（Iターン）が農業法人での活動を行っており、但東地域は移住希望者にとって田舎暮らしを楽しみながら、農業でしっかり稼ぎ、生活を建てていくことができる地域「住めば都の但東」です。



3 但東地域を代表する農業法人

①有限会社 あした

～但東地域の「あした」を見据える～

平成16年 設立

代表取締役 霜倉 和典氏

従業員数 7名（うち30歳代が4名）

農業者の高齢化に伴い、農作業の受託や農地を預かる地域の受け皿として活躍。但東地域の5年、10年先を見据え、農業後継者を育成すべく、若者を積極的に社員や研修で受け入れています。

また、代表の霜倉氏は、永年にわたるこれらの地域への貢献により、平成30年度黄綬褒章を受章されています。

栽培品目は水稲(約27ha)を中心に、ピーマン等の野菜や山菜を約3haの他、小豆を約1haを作付け、請負作業においては地域の農業者と連携した乾燥システムの構築により効率化とコスト削減を実現しています。冬季はチューリップ球根の生産の他、除雪作業を請け負う等、まさに地域に無くてはならない存在となっています。



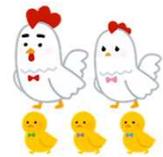
②株式会社 西垣養鶏場

～「行列のできる卵かけご飯専門店」6次産業化の先進事例～

平成21年設立
代表取締役 西垣 源正
従業員数 24名(パート)

養鶏場で「ゴトウモミジ」
約1万羽を飼育する他、
水稻を約7ha栽培しており、
生産した新鮮な卵とお米を
使い、卵かけご飯専門店の

「但熊」、スイーツ専門店「但熊式番館」を経営し、六次産業
化に取り組むかたわら、農産物直売所「百笑館」で
但東地域の農産物の販売を行い、地元の人を雇用
することで地域の所得向上・活性化を担っています。



③有限会社 植田農園

～無農薬かつ高品質にこだわり、県を代表する若きリーダー農家～

平成6年設立
代表取締役 植田 博成
従業員数 2名

平成23年、30歳の時に代表取締役に
就任後、水稻・野菜を無農薬・無化学
肥料で栽培を開始。現在は水稻約14ha
トマトやハウレンソウといったハウス
野菜を約20a、白菜等の露地野菜を
約60a栽培しています。

グローバルGAP認証取得+有機JAS認証取得し、挑戦しつ
づける農業経営を展開しています。また、兵庫県農協青年部協
議会の委員長として、県内若手農家のリーダーとして活躍して
います。



4 新規就農のサポート体制

① J A たじま 担い手支援課 (T A C)

～農家によりそうアドバイザー～

但東の担当: 安達(アンタツ)氏
就農希望者の相談窓口として
研修先の親方農家とのマッチング

担い手支援課の但東地域の担当として地域内の認定農家情報を常に把握しており、国県及び市の支援制度を活用し、研修希望者と親方とのマッチングを行う新規就農希望者の強い味方です。

また、先に紹介したグローバルGAP認証においても農家(植田農園)と2人3脚で取り組んだ実績と熱意のある相談員です。



② 豊岡市の就農支援制度

～さまざまな形態での研修実施～

● 豊岡農業スクール

平成25年度から実施している、将来の豊岡農業を担う農家を育成するための市独自の研修制度です。

《条件等》

- ・ 市内在住者又は転入者で45歳以下であること。
- ・ 研修時間は週40時間(1日8時間×5日間)を基本とします。
- ・ 給付金として一人月額 100,000円を支給します。

● 地域おこし協力隊(農業支援員)

国の制度である「地域おこし協力隊員」として大規模農業法人で活動する1ターンでの農業研修制度です。

《条件等》

- ・ 都市部からの移住者で45歳以下であること(詳細な条件あり)。
- ・ 活動時間は7H/日×20日/月を基本とします。
- ・ 給付金として一人月額 166,000円を支給します。
(他に住居と車を無償貸与等の支援あり)

③就農までの道のり

但東町・豊岡って
どんなところ？

就農フェア・移住フェアに参加

JAたじま、普及センター、
豊岡市農林水産課で相談

住む場所や
農地は？

- ・ 情報提供
- ・ 人と農地のマッチング

こんな事に挑戦
してみたい

但東地域農業の将来を考える会

連携

豊岡農業スクール

地域おこし協力隊

- ・ 技術指導
- ・ 在籍中給付金あり
- ・ 最長3年間

- ・ 幅広い活動内容
- ・ 在籍中給付金あり
- ・ 任期3年間

～就農～

独立自営

or

雇用就農

- ・ 自己裁量

- ・ 安定感

珍しい野菜の
オーガニック栽培に
チャレンジ！

仲間と
一緒に
楽しい農業

多様な選択肢

- 水稻
- 野菜
- 花き
- 畜産
- 果樹



5 但東地域で頑張る新規就農者

①中井 勇一さん

～コウノトリ育む農法に魅せられて「Iターン」就農～

- ・豊岡農業スクール H28年(研修先:(株)西垣養鶏)
- ・独立就農 H29年～(認定新規就農者)
- ・豊岡市但東町佐田地区



奈良県から奥さんと2人でIターン就農。無農薬で米を育てたい思いがあり、豊岡の「コウノトリ育む農法」を知り、「豊岡農業スクール」での研修を経て、但東地域で移住、就農されました。

住まいは空き家を借り、農地やトラクター等の機械も地元農会の仲介により離農者から借りることができ、多額の初期投資が必用な水稻栽培での就農が可能となりました。

就農2年目、水稻2ha、ピーマン10aに加え、観光農園（とうもろこし収穫体験）も実施される等、地域が活性化する事業にも積極的に取り組まれています。

②三上 裕也さん

～亡祖父母の家での田舎暮らし「I（孫）ターン」就農～

- ・豊岡農業スクール H28～29年(研修先:(有)あした)
- ・独立就農 H30年～(認定新規就農者)
- ・豊岡市但東町虫生地区



神戸市からIターン就農。亡き祖父母の家での田舎暮らしをきっかけに農業に挑戦することになりました。農業スクールでは、春は田植え、夏はピーマン、秋は稲刈り、冬は山うどと、様々な作業を経験し、機械操作や栽培知識の基礎を身につけられました。

独立には初期投資を抑えたうえで、収益が見込めるピーマン主体の栽培を選択されました。

三上さんは、1年目にしてJAたじまピーマン協議会で新人賞を取得されるなど、地域で将来有望な農業の担い手として期待されています。

③岡本 知賢さん

～在来種「赤花そば」の生産・加工・そば打ち・販売まで～

- ・地域おこし協力隊員 H30～
- ・赤花そばの郷農事組合法人
- ・豊岡市但東町赤花地区



レストラン『赤花そばの郷』にて、500年以上この地域で守り継がれている希少な在来種『赤花そば』の栽培、生産、販売をしておられます。『赤花そばの郷』では、つなぎ無しの10割の蕎麦を打ち立てで提供しており、お店のHP管理、宣伝活動、オンラインショップの管理等も担当されています。

また、そば以外にも、コウノトリ育む農法による無農薬タイプのお米も作っておられます。「人生初めての農業、農家の常識も何も知らない一からの事で大変ですが、それが返って新鮮で毎日楽しく過ごしています」とのこと。

《参考》 豊岡市全域の新規就農者の状況

豊岡農業スクールについて

- ・ H25～H30年度で合計17名が同スクール制度を活用
- ・ H30.3末時点で11名が卒業、現在は6名が研修中
- ・ 研修内容は多様性に富んでいる
《大規模水稻、有機野菜、ハウス野菜、果樹（ブドウ）
畜産（但馬牛繁殖）、花き、複合経営》
- ・ 座学研修や集合研修の充実による仲間づくりを大切に！

認定新規就農者について

- ・ H31.2末時点で15名の認定新規就農（青年等就農計画を認定）
- ・ 独立の場合の営農類型は野菜（露地+ハウス）が中心
- ・ 普及センターによる若手農家研修により農家同士の連携強化

白ネギの産地化を目指し、若手農家グループを結成したり、ネットによる地元農産物の販売サイトへの参加を積極的に実施。

6 就農後の支援制度



独立就農

① 農業次世代投資資金

次世代を担う農業者となることを目指す人を応援！
認定新規就農者に位置付けられる等の条件を満たすと
就農直後の経営確立を支援する資金を交付（経営開始型（5年以内））

② 若手農家支援事業

認定新規就農者を対象とした豊岡市独自の支援事業
ハウス・施設・機械等の導入費用の1/2以内を補助（上限300万円）

雇用就農（雇用者側への支援）

① 農の雇用事業

農業法人等が新規就農者である雇用者等に対して実施する
研修を支援
雇用就農者育成タイプ：法人が新規就業者に対して実施する
実践研修を支援（助成金120万以内/年、支援期間2年間）

② 法人化促進総合対策事業

農業法人等が新規に雇用をした場合等に
経営の多角化・高度化に必要な機械・施設の整備費用の
1/3以内を補助（上限300万円）



※上記メニューの詳細は下記までお問合せ下さい。

豊岡市但東地域での就農に興味を持たれた方はこちらに
までご連絡ください。

豊岡市農林水産課 農政係

TEL(0796)-23-1127 FAX(0796)-24-7801